2025年３月期決算補足説明資料

証券コード：2108　日本甜菜製糖株式会社

2025年５月14日

1．【当期の業績　減収増益】

・砂糖事業での販売数量減少により減収。
・ビート糖関連施設に関する減損損失が発生したものの、
固定資産売却益（本社ビル売却益）により増益。

2．【次期業績予想　増収減益】

・適正価格での販売徹底に努めることで増収を見込むものの、
特別利益の減少により減益見込み。

3．【資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応】

・第２次日甜グループ中期経営計画の見直しを行い、2025年５月14日公表。
最終年度(2027年度)目標として「ROE５％以上」の目標値を設定。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

目次

1．決算概要　５ページ～
2．次期(2026年３月期)の業績予想　13ページ
3．資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応　15ページ
4．トピックス　17ページ～
5．参考資料　21ページ～

「てん菜」～持続可能な北海道農業～

「てん菜」は、「ビート」とも呼ばれる砂糖の原料となる植物です。

畑作の場合、地力（土地の生産力）を維持するために、輪作が欠かせません。

冬季の長い北海道では栽培できる作物が限られます。北海道では小麦、ジャガイモ、(豆類)、てん菜を順番に栽培する輪作体系が確立しています。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

1．決算概要

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

決算概要

- 砂糖事業での販売数量減少により減収。
- また、砂糖事業において、依然として製造原価が高止まりしていることに加え、原価率の高い原料糖在庫に対する棚卸資産評価損が増加し営業利益減少。
- ビート糖関連施設に関する減損損失が発生したものの、固定資産売却益（本社ビル売却益）により当期純利益は増加。

単位：百万円

	2024年３月期	2025年３月期		
	通期実績	通期実績	前年同期比	前回通期見込 ※1
売上高	69,297	64,796	▲6.5%	64,800
売上原価	55,515	51,575	▲7.1%	―
売上総利益	13,781	13,220	▲4.1%	―
販売費及び一般管理費	12,870	12,684	▲1.4%	―
営業利益	910	535	▲41.2%	500
経常利益	1,802	1,124	▲37.6%	1,100
当期純利益	1,811	2,703	49.2%	2,700

※１　直近の連結業績見込（2025年４月30日）

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

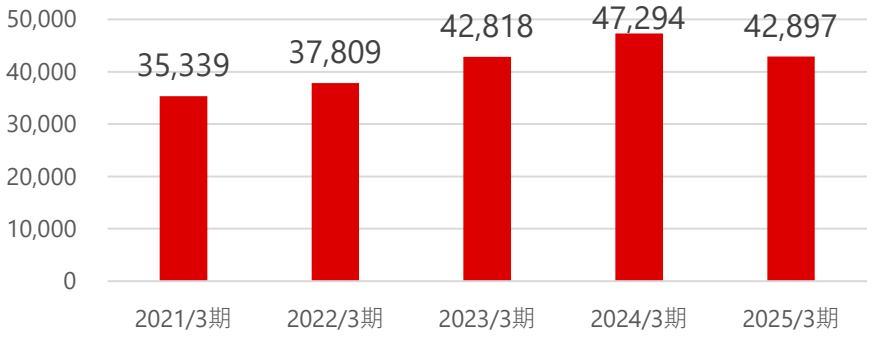
事業別 砂糖事業

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	増減
売上高	47,294	42,897	▲4,396
営業利益	▲ 552	▲1,598	▲1,045

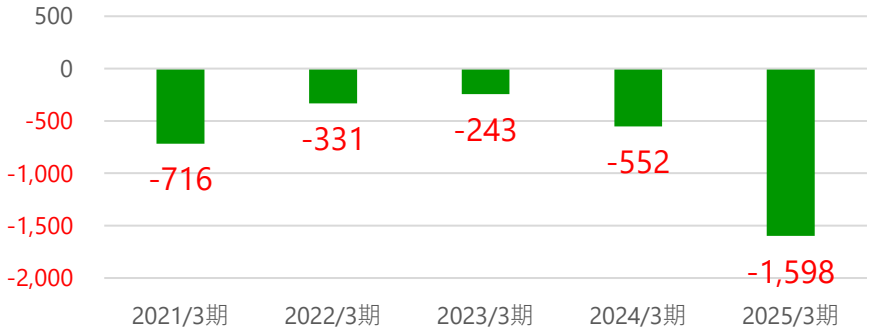
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



【減収減益】

- 売上高は前期比9.3%減
  営業損失は増加
- 2023年の猛暑等により原料となるてん菜が低糖分となった影響で、砂糖生産量が大きく減少
- 販売価格は上昇したものの、販売数量が減少
- 売上高はてん菜の豊凶、海外砂糖相場、国内砂糖消費量の動向等、外部要因の影響大
- 依然として製造原価が高止まりしていることに加え、原料糖在庫に対する棚卸資産評価損が増加
- 一定の数量を超えるビート糖は、安価なビート原料糖として販売
- ビート原料糖は販売価格が低く原価率が高いため、期末在庫量が増えると棚卸資産評価損が拡大

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

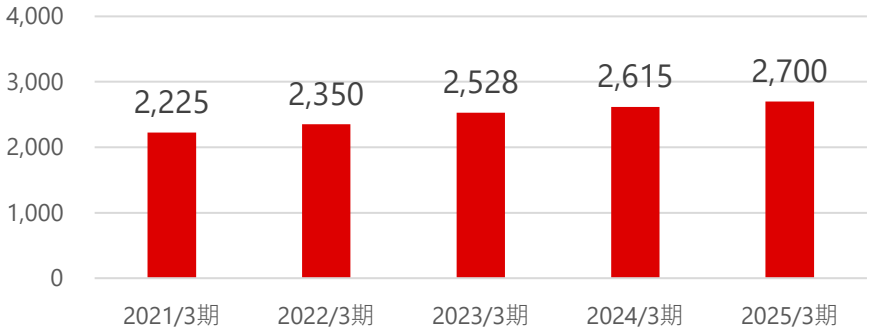
事業別 食品事業

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	増減
売上高	2,615	2,700	+85
営業利益	188	221	+33

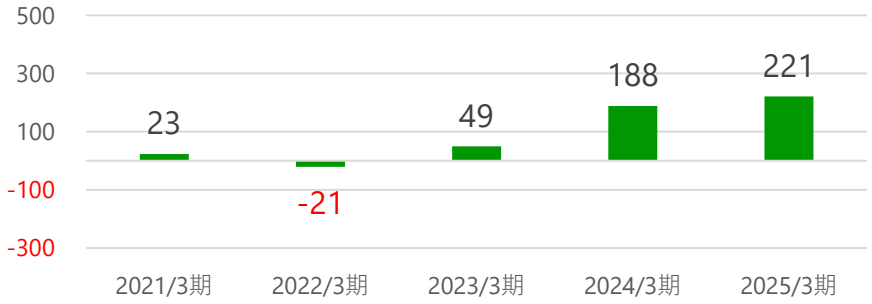
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



【増収増益】

- 売上高は前期比3.3%増
  営業利益は前期比17.9％増
- イースト、オリゴ糖等食品素材は、販売数量増加により増収増益
- 国内唯一の国産ドライイースト（とかち野酵母・旨パン職人）の拡販に取り組む
- オリゴ糖含有液状甘味料、フラクトオリゴ糖の拡販により売上確保に努める

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

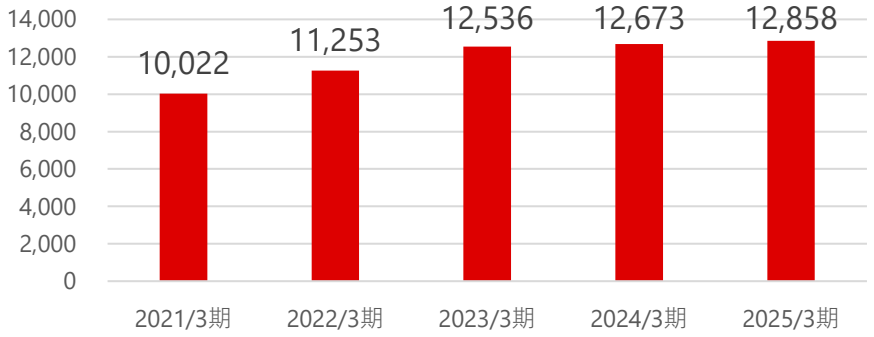
事業別 飼料事業

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	増減
売上高	12,673	12,858	+ 184
営業利益	121	1,221	+1,099

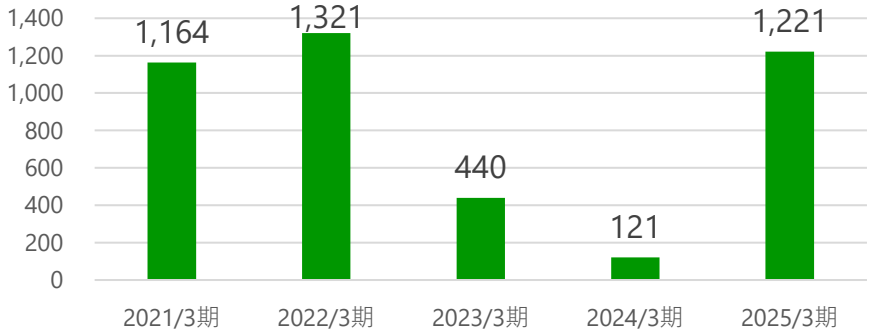
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



【増収増益】

- 売上高は前期比1.5%増
  営業利益は前期比903.3％増
- 配合飼料は、牛乳の生産抑制解除による需要回復と営業努力により販売数量は増加も、値下げを行った影響もあり売上減少
- 一方で、とうもろこし等原料価格が低下したこと、コスト削減に努めたことにより損益改善
- ビートパルプは、原料てん菜の収量増加に伴う増産により、販売数量、売上高がともに増加
- ビートパルプ生産量はてん菜の豊凶に左右される
- 機能性のある独自商品を継続的に市場へ投入

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

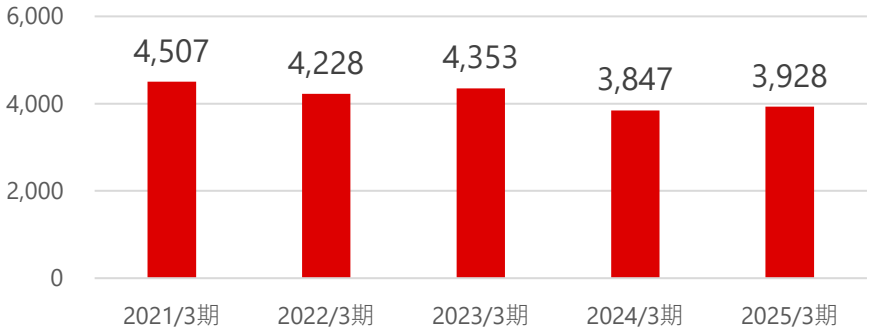
事業別 農業資材事業

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	増減
売上高	3,847	3,928	+ 81
営業利益	179	▲50	▲229

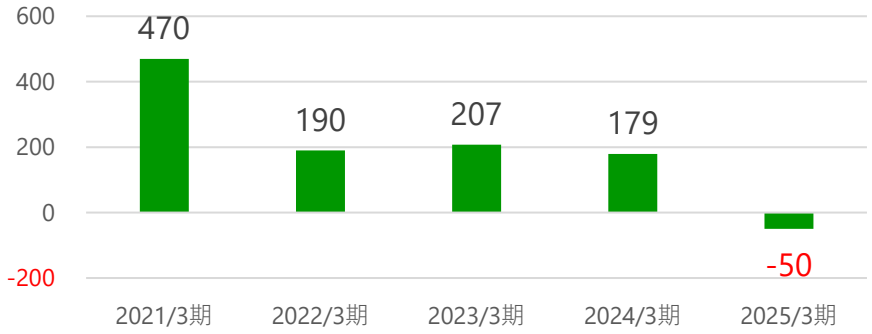
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



【増収減益】

- 売上高は前期比2.1%増
  営業損益は悪化
- 紙筒（移植栽培用育苗鉢）売上は、そ菜用は販売数量がやや減少も一部値上げにより前期並みとなった一方、ビート用で販売数量が減少し売上減
- 農業機材は、移植機材・播種機材等の売上が増加
- 棚卸資産評価損発生により営業利益減少
- 直播※率の増加傾向に伴い、ビート用紙筒販売数量は減少傾向
- ネギ用を主としたそ菜用紙筒で売上を補完、海外展開も積極的に推進
- 農業用資機材の需要動向の把握に努め、新商品開発にも注力

※直播：育苗ポット等を使用せず、直接田畑に種をまくこと

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

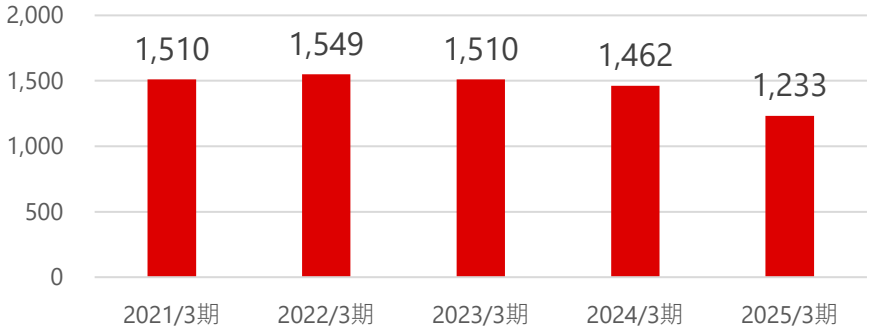
事業別 不動産事業

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	増減
売上高	1,462	1,233	▲229
営業利益	903	602	▲301

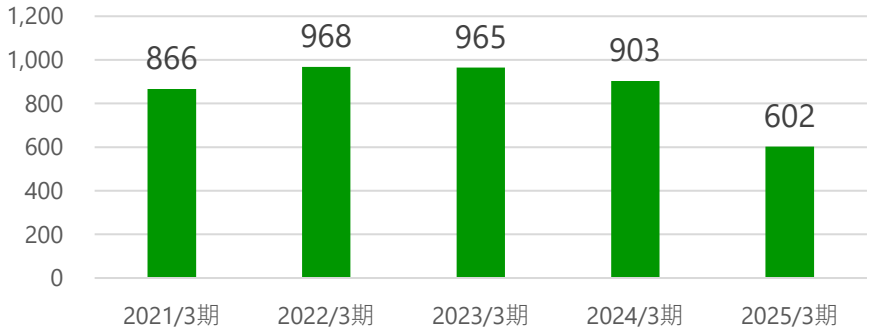
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



【減収減益】

- 売上高は前期比15.7%減
  営業利益は前期比33.4%減
- 一部賃貸物件の稼働率低下、本社ビル売却によるテナント収入減少
- コスト削減に努めるも、売上高、営業利益ともに前期を下回る
- 各テナントとの友好的な関係の維持に努める
- 慎重な投資判断を行う

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

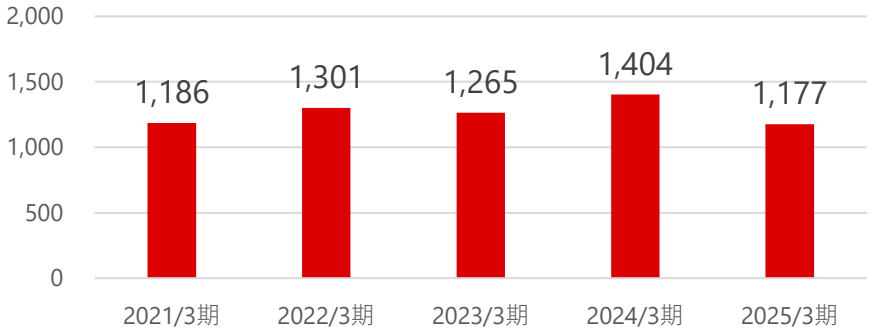
事業別 その他の事業

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	増減
売上高	1,404	1,177	▲226
営業利益	65	185	+120

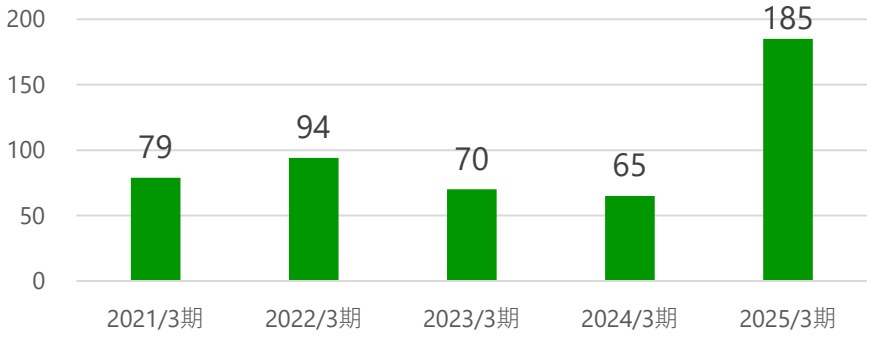
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



【減収増益】

- 売上高は前期比16.1%減
  営業利益は前期比183.6%増
- 書店販売事業から撤退したことにより減収
- 貨物輸送のコスト削減により増益
- 輸送請負量は農産物の豊凶により増減
- 原料てん菜輸送において、大型車両増車により効率輸送を図る
- スポーツレジャー施設は経済動向に左右される傾向が大きい

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

２．次期(2026年３月期)の業績予想

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

次期の業績予想について

- 各事業において、適正価格での販売徹底に努める。
- 諸資材価格は引き続き高値で推移しており、砂糖を始めとした当社製品の製造コストは依然として高い水準が見込まれるが、一層のコスト削減に努め、利益確保を図る。
- 特別利益の減少により、当期純利益は減少。

単位：百万円

	2025年３月期	2026年３月期	
	通期実績	通期計画	2025年 ３月期比
売上高	64,796	70,000	8.0%
営業利益	535	600	12.0%
経常利益	1,124	1,200	6.7%
当期純利益	2,703	800	▲70.4%

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

３．資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2025年５月14日公表の「第２次日甜グループ中期経営計画の見直し(2025年度～2027年度)」において、当社の資本収益性の現状認識ならびに改善に向けた方針等を記載しております。

詳細につきましては、当該資料をご参照願います。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/2nd_medium_term_plan_revise_20250514.pdf

（主な内容）

・第２次中期経営計画見直し後の最終年度(2027年度)目標として「ROE５％以上」の目標値を設定

・2027年度末までに、政策保有株式を純資産比率20％まで縮減

・2025年度～2027年度におけるキャッシュアロケーションを策定

・株主還元を強化

１株当たり配当金50円以上
必要に応じて自己株式の取得を検討

→

１株当たり配当金80円以上
機動的な自己株式取得を実施

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

４．トピックス

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

マイコプロテインへの挑戦

○Norwegian Mycelium AS（NoMy社）への出資

当社は2025年４月30日、ノルウェーのオスロに本社を置く発酵技術企業Norwegian Mycelium AS（NoMy社）への出資を行いました。

2024年４月より、当社とNoMy社はビート糖製造工程の副産物である糖蜜等を活用したマイコプロテイン生産について技術開発を進めてまいりました。

てん菜の新たな活用方法としてマイコプロテインを生産することで、プロテインクライシス（世界規模でのタンパク質供給危機）の解決に寄与するとともに、持続可能な食料供給への貢献を目指します。

マイコプロテインとは？
…糸状菌を培養することで得られる糸状菌タンパク質のことで、動物性タンパク質の代替として、飼料や食品への活用が期待されます。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

北海道士別市との包括連携協定締結

○地域の活性化・市民サービス向上に向けて

当社は2025年１月24日、士別製糖所が所在する北海道士別市と「包括連携協定」を締結いたしました。

士別製糖所は1936年に建設され、現在稼働している当社の３つのビート糖製造工場の中で、最も長い歴史を誇る工場となります。

以来、長きにわたり「工場見学等を通じた食育活動」や「砂糖消費拡大イベント」等、連携行ってまいりましたが、今回の包括連携協定締結を機に、より緊密で強固な関係となるよう協力してまいります。

地域社会への貢献とともに、安全・安心な社会の実現に向けて今後とも取り組んでまいります。

当社マテリアリティ
６つのテーマ

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

お知らせ

○株主さま製糖所見学会を実施

株主さまに当社事業へのご理解をより一層深めていただくことを目的に、当社芽室製糖所見学会を実施いたします。
（2025年10月中旬ごろを予定）

今後も日本甜菜製糖のことを深く知っていただける企画を検討してまいります。

芽室製糖所（北海道河西郡芽室町）

○食品販売部公式Ｘ（旧ツイッター）開設

2024年10月31日より、食品販売部公式Ｘアカウントを開設いたしました。Ｘでは当社製品を使用したレシピ紹介や商品紹介を中心に、皆さまのお役に立つ情報を発信しております。

皆さまのご訪問をお待ちしております！

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

5．参考資料

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

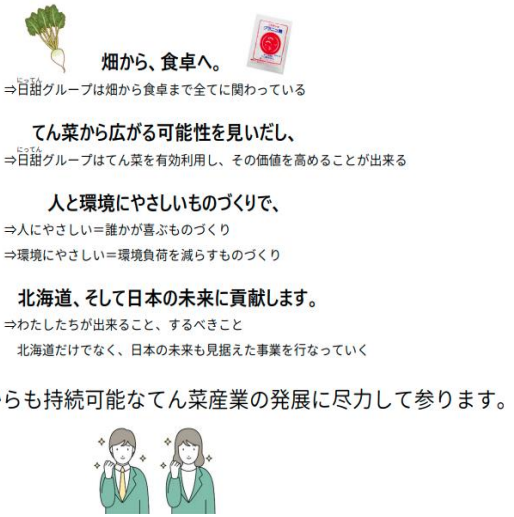
会社概要

社　　名	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社
社名英訳	Nippon Beet Sugar Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田三丁目１２－１４　ニッテン三田ビル
代　表　者	取締役社長　石栗　秀
資　本　金	８２億７千９百万円
創　　立	１９１９年（大正８年）６月１１日
従業員数	７７５名（連結）／６３４名（単体）
株　　式	東京証券取引所 プライム市場 （証券コード ２１０８）

日本甜菜製糖グループ　パーパス

畑から、食卓へ。
てん菜から広がる可能性を見いだし、
人と環境にやさしいものづくりで、
北海道、そして日本の未来に貢献します。

日本甜菜製糖



Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

主な事業拠点

主要な製造拠点は北海道にあり、北海道の地域経済と深くかかわっています。

●製糖所
芽室製糖所（河西郡芽室町）
美幌製糖所（網走郡美幌町）
士別製糖所（士別市）

●その他工場
清水バイオ工場（上川郡清水町）
清水紙筒工場（上川郡清水町）
江別種子工場（江別市）

●その他
札幌支社（札幌市）
ビジネスセンター（河西郡芽室町）
総合研究所・飼料事業部（帯広市）

ビート資料館（帯広市）

子会社　十勝鉄道(株)・スズラン企業(株)（帯広市）
　　サークル機工(株)（滝川市）
関連会社　とかち飼料(株)（広尾郡広尾町）

●北海道外の拠点
本社（東京都港区）
千葉物流センター（千葉県千葉市）

子会社　ニッテン商事(株)（千葉県千葉市）

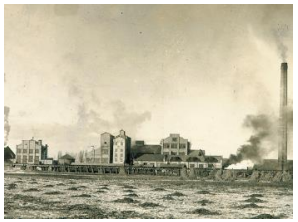
士別製糖所

美幌製糖所

芽室製糖所

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

沿革


帯広製糖所
(現・総合研究所他)

士別製糖所

美幌製糖所

芽室製糖所

1919年
北海道製糖㈱
(当社旧商号)設立

1920年
帯広製糖所完成

1936年
士別製糖所完成

1949年
東京証券
取引所上場

1952年
イースト集中生産開始

1959年
美幌製糖所
完成

1962年
ペーパーポット®生産開始

1962年
配合飼料生産開始

1970年
芽室製糖所
完成

1982年
総合研究所
新設

2019年
創業100周年

1991年
ラフィノース、ベタイン生産開始

2004年
DFAⅢ生産開始
帯広製糖所跡地に複合商業施設
完成

2020年
第1次中期経営計画策定

2021年
三井製糖㈱・大日本明治製糖㈱ (現・DM三井製糖㈱)
との資本業務提携契約締結

2022年
東京証券取引所プライム市場上場

2023～2027年
第2次中期経営計画策定

2025～2027年
第2次中期経営計画見直し

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

事業紹介

当社のありたい姿：「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍
～　てん菜糖業を基盤として、多角化を推進　～

砂糖事業
・てん菜(ビート)から砂糖（ビート糖）を製造し、販売しております。
・輸入粗糖から精製糖を製造し、販売しております。

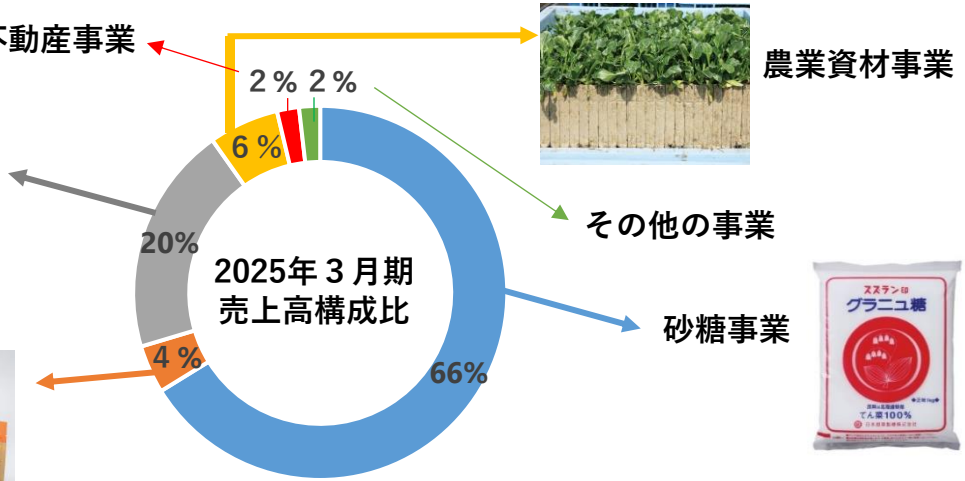
食品事業
・てん菜の糖液から砂糖を取ったあとの糖蜜を利用してイースト（パン酵母）やオリゴ糖を製造、てん菜に含まれるラフィノース、ベタイン等を抽出して販売しております。

飼料事業
・てん菜から糖分を抽出したあとの繊維分をビートパルプとして牛用飼料として販売しております。
・ビートパルプにトウモロコシ等を配合し栄養価を高めた配合飼料を販売しております。

農業資材事業
・てん菜の栽培技術を活かした、農業用資機材を販売しております。

不動産事業
・保有不動産の有効活用から始まり、投資物件も手掛けております。

その他の事業
・てん菜の製糖所への搬入や、砂糖・配合飼料の運送をしております。



Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

砂糖事業から他の事業へ派生しております

砂糖事業

道内各地に原料事務所を設置し
てん菜農家の皆様をサポート

北海道内の三製糖所で製造

食品事業

砂糖製造・発酵の技術を活用

飼料事業

てん菜の繊維質（ビートパルプ）
を牛の飼料として活用
ビートパルプにトウモロコシ等
を配合した配合飼料を販売

原料調達 → 生産 → 物流 → 販売

農業資材事業

てん菜栽培の技術を活用

子会社　サークル機工(株)
農業用機械・器具の製造・販売

その他事業

子会社　十勝鉄道(株)
原料てん菜の運搬
砂糖・配合飼料の運送

子会社　スズラン企業(株)
石油類販売

砂糖事業　食品事業
食品販売部　全国５カ所に営業所
子会社　ニッテン商事(株)

飼料事業
飼料事業部　北海道５カ所に営業所

農業資材事業
紙筒事業部　全国４カ所に営業所

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

砂糖事業

●事業概要

当社は寒冷な地域での栽培に適した**てん菜**を北海道（十勝、オホーツク、道央）の農家の方に栽培して頂き、収穫されたてん菜から砂糖を、北海道にある**芽室・美幌・士別の３製糖所**で製造しております。

当社は**ビート糖**製造販売で４割程度のシェアを持ち、また粗糖を原料とした**精糖の**製造販売も行い、北海道、西日本では**スズラン印の砂糖**として愛用されています。

業務用の砂糖は大手菓子、飲料メーカー等に販売、好評を頂いており、**国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強み**です。

当社は、ビート糖、精糖を合わせ日本で消費される砂糖の１割強を供給しております。

ビート糖

家庭用 グラニュ糖と上白糖です（小袋１Kg）。北海道産であり、大変好評を頂いております。

精糖

家庭用 三温糖　白ザラ糖です（小袋１Kg）。その他、グラニュ糖、上白糖、中双糖も取りそろえております。

北海道まろやかてんさい糖

北海道オホーツク産てん菜のみを使用。第78回ジャパン・フード・セレクション(2024年８月)において、最高評価である「グランプリ」を受賞。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

食品事業

●事業概要

当社では砂糖の他、副産物であるビート糖蜜を活用し、イースト（パン酵母）やオリゴ糖などの機能性素材を製造・販売、当社の主業である「砂糖」とともに、様々な食品素材を供給することで、食生活に彩りを添えております。

イーストは各種業務用のほか、家庭用のドライイーストも取り扱っております。
（**日本でドライイーストを製造しているのは当社だけ**です）。

オリゴ糖は腸内の善玉菌であるビフィズス菌の栄養源となり、腸内の善玉菌を増やす効果があります。甘味度はショ糖の約7割で、上質で風味豊かな甘味を持っています。

てん菜に含まれる有用成分である、**ベタイン**（アミノ酸の一種）の製造・販売も行っております。

子会社 **ニッテン商事(株)**は製菓・製パン原料等を仕入・販売しており、ニッテンオンラインショップ（https://nitten-ec.shop-pro.jp/）の運営も行っております。

旨パン職人
（バゲットや食パンなど無糖・低糖生地のパンづくりに適した国産ドライイーストです。）

ラフィノース100
（てん菜から抽出した粉末状のオリゴ糖）

ビートオリゴ
（オリゴ糖を含む液状甘味料）

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

飼料事業

●事業概要

「**乳牛と肉牛の健康パートナー**」として、酪農経営の安定と発展のため当社研究所において**独自に研究開発**した飼料を製造・販売しております。ニッテン配合飼料の理念は、乳牛の潜在的能力を科学で引き出し、健康に生産を続けられる飼料をお届けすることにあります。

当社の配合飼料はてん菜に含まれる繊維質であるビートパルプを主な原材料とするもののほか、イーストやオリゴ糖ならではの素材を配合した**機能性のある飼料**を取り揃えております。

「コウシのミカタ®」は、2025年４月25日「イムノアクセル®」に名称変更いたしました。

【Immuno　免疫（力）　Accel　加速する】と名前から製品の特徴がイメージ出来るようリニューアルしました。

製品の内容、品質、価格等に変更はございませんので、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

※初乳中の免疫グロブリンの吸収を促進するオリゴ糖を原料とした初乳用添加剤で、初乳に混ぜて給与するだけで仔牛を健康に育てることができます。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

農業資材事業

●事業概要

育苗用の資材である「**ペーパーポット®**」とそれに関わる資機材を製造・販売しております。ペーパーポット®は 60 年間北海道のてん菜産業を支えてきた当社が開発した技術で、現在も多様な作物に使用されている環境にやさしい紙素材の製品です。

商品ブランドの一つである「チェーンポット®」シリーズは、鎖のように連結したポットが特長で、簡易移植器「ひっぱりくん®」と組み合わせる事で短時間で簡単に移植することができます。

てん菜用はもちろん、そ菜・花き・林木用があり、ネギ、レタス、キャベツ等の葉菜類の栽培等、**国内だけでなく海外にも販路を広めています。**

ペーパーポットの育苗用や移植用の**農業用機械・器具、培土等も取り扱っており、**子会社 **サークル機工(株)**では農業用機械・器具の製造・販売を行っております。

日本のてん菜の約５割、ネギの約３割
に使われております。

SNSでの情報発信にも力を入れており、
Instagramでは1.9万人のフォロワーを獲得するなど
国内・外の方々に多くご視聴いただいております。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

不動産事業

●事業概要

東京都、北海道等で**オフィスビル、商業店舗等の賃貸**をしております。

帯広市の旧製糖所跡地の一部を再開発した地区（約17万㎡）は、道東で最大級の複合商業施設となっており、地域の皆様の暮らしに貢献しております。

北海道帯広市 複合商業施設

その他の事業

●事業概要

子会社 **十勝鉄道(株)**は、主に原料てん菜やビート糖・配合飼料の運送を行っております。確かな技術と信頼により、農業と輸送の新しいスタイルを提供し続けます。

子会社 **スズラン企業(株)**は、北海道帯広市・芽室町でスポーツ・レジャー事業(ボウリング場経営)、石油製品販売事業(石油製品販売・ガソリンスタンド経営)、保険事業(生命・損害保険代理店)を行っております。

十勝鉄道(株)　運送車両

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

過去５年間の業績推移

単位：百万円

	2021年３月期	2022年３月期	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期
売上高	54,792	58,492	65,013	69,297	64,796
営業利益	1,889	2,229	1,506	910	535
経常利益	2,349	2,818	1,993	1,802	1,124
当期純利益	1,642	1,975	1,260	1,811	2,703
純資産額	68,462	67,918	68,134	72,535	73,829
総資産額	97,392	100,458	103,149	103,022	101,215
１株当たり純資産額(単位:円)	4,886.11	5,037.45	5,102.17	5,647.57	5,928.75
１株当たり当期純利益額(単位:円)	115.88	141.76	93.59	138.47	215.15
自己資本比率	70.3%	67.6%	66.1%	70.4%	72.9%
自己資本利益率（ＲＯＥ）	2.4%	2.9%	1.9%	2.6%	3.7%
売上高のうち砂糖事業の占める割合	64.5%	64.6%	65.9%	68.2%	66.2%

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

株価の推移

- 2022年４月　東京証券取引所市場第一部から新市場区分「プライム市場」へ移行しております。
- 証券コード　2108
- 新聞の経済面等では銘柄名が「甜菜糖」と記載されています。

株価チャート 2019年４月～2025年４月

2025年４月30日
終値2,353円

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

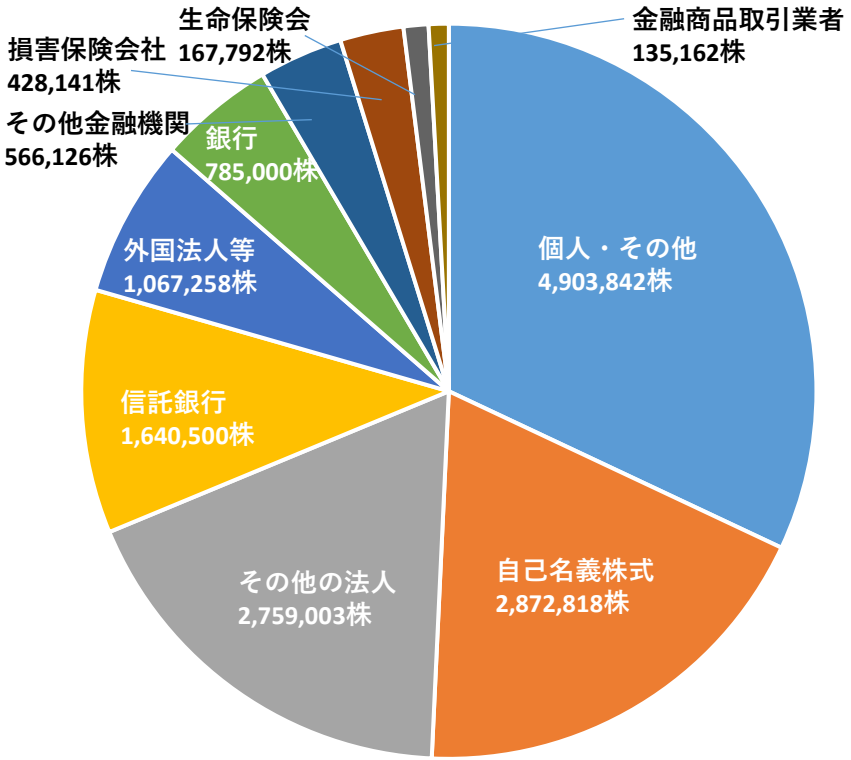
株式の状況（2025年３月31日現在）

大株主の状況

株主名	所有株式数（株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,176,900	9.45
明治ホールディングス株式会社	993,845	7.98
ニッテン共栄会	958,288	7.70
農林中央金庫	514,926	4.14
東京海上日動火災保険株式会社	428,141	3.44
株式会社みずほ銀行	355,183	2.85
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社	320,288	2.57
ＤＭ三井製糖ホールディングス株式会社	265,300	2.13
スズラン持株会	251,356	2.02
ＩＮＴＥＲＡＣＴＩＶＥ ＢＲＯＫＥＲＳ ＬＬＣ	232,900	1.87

※当社は自己株式2,872,818株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。
※持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

株主構成分布状況

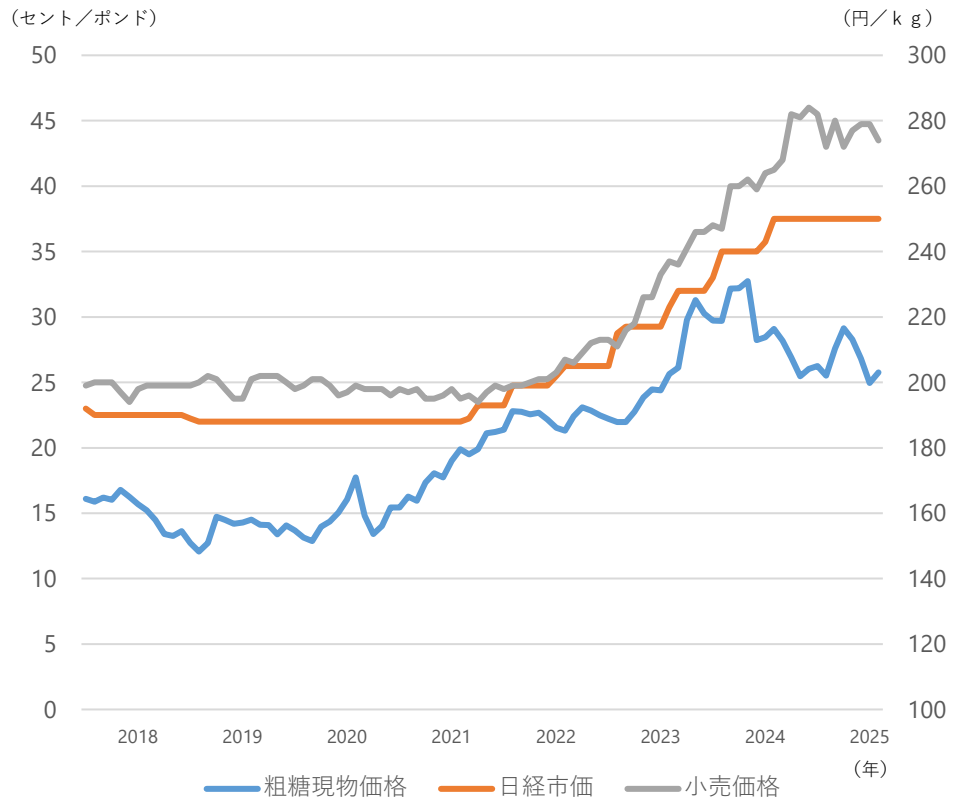


Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2025

砂糖価格・砂糖消費量

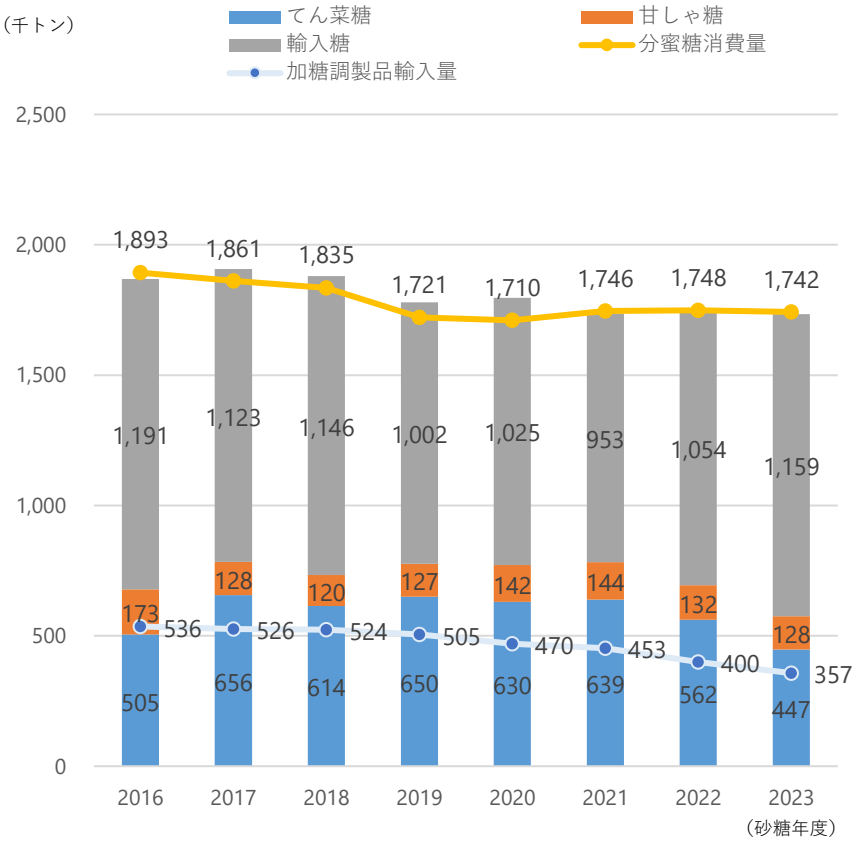
砂糖市場の推移

2025年2月現在



注１：粗糖現物価格は、東京商品取引所・大阪堂島商品取引所調査の粗糖現物価格（月平均価格）
注２：日経市価は、日本経済新聞の市中相場（東京、上白、30kg大袋入り）の
　　価格（消費税抜き）で、各月の平均値
注３：小売価格は、総務省統計局調べ

砂糖消費量の推移



※砂糖年度とは、当該年の10月から翌年の9月までの期間

農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」より当社作成

© 日本甜菜製糖株式会社 2025

・日本の食料自給率は約38％（カロリーベース、2023年度数値）。
・2023年度はてん菜の記録的な低糖分により、砂糖類の食料自給率は低下しましたが、高い自給率で日本の食料自給率向上に貢献しております。

品目別自給率 上位５品目	米	野菜	魚介類	砂糖類	果実
2021年度	98％	75％	53％	36％	30％
2022年度	99％	75％	49％	34％	30％
2023年度	100％	76％	49％	26％	29％

※農林水産省「食料自給率・食料自給力指標について」より

・食料自給率の向上は、フードマイレージの観点から、環境負荷の低減にもつながります。

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【お問い合わせ先】
日本甜菜製糖株式会社
財務企画室財務課
ir@nitten.co.jp

社是：開拓者精神を貫き　社会に貢献しよう